

發行兼編輯人 川崎文治 福島縣石城郡平町長崎町廿五番地 發行所 常盤毎日新聞社

# 常盤新聞

刊夕日十二月六

常盤毎日新聞  
病床寸言 (六) 川崎文治

底無しの池に石を投げ込む様な當てにならぬ事業に對して唯ツケもなく金を注ぎ込む物好きは此セチ辛世の中にある筈はない、若しあつたとしたら夫れは氣紛れなオツチヨコチヨイとでも申すべきであらう

余は本社を興すに當り其事の是非に就いて何人にも相談を掛けなかつた、相談を掛けたつて誰も乘氣になつて賛成して呉れる人のな

い事を觀念して居たからである、また金の一文ダツテ人に工面を頼まなかつた、ハネ付けられるにきまつて居る事を知つて居たからである

唯余は余の心中深く期する處があつた、夫れは外でもない「他人に迷惑を懸けずとも自給自足で必らず遣つてゆける」との自信——是れである

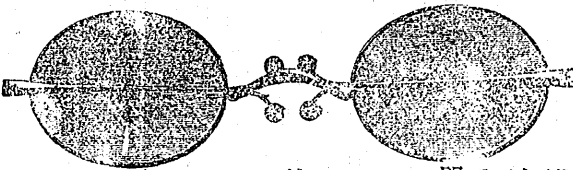
それにして所謂廣告料の名目を以つて矢鱈に金を強請し廻る様な社會に蛇蝎視せられる行動に依つて新聞の露命をつなぐ事は全々

余の欲せざる處である

故に余は先づ新聞の讀者の多からん事を欲した、讀者が多ければ多し程それに掲載された廣告の効果は増大する、従つて其の申込みがダマツテ居ても膨ねねばならぬ筈である事を信じて居たからである

茲に於てかいはらき新聞社を退社した余は其翌日からタツタ一人で日刊新聞の經營に身を處す事となり荆妻と共々手分けして極力讀者の勧誘に従事したのである (續く)

(可認物便郵種三第) (號五十六百四第) 聞新日每警常 (日曜日) 日一十二月六年四十正大 (四)



逸獨 高級眼鏡 (メニハカス) 國ノニスレ ンズを向ん で皆さんが お好みにな るのです


答掛け心地 が良くて眼 や脳へは絶 對弊害がな く晴々する からです

平町一丁目 常盤屋 時計店 電話三三九番

弊店眼鏡部は各國品多取扱へ 電力應用で速時調整します

小僧さん入用 喰べてわいしい 遠藤パン (有聲座隣)

社會菓製治明



用粧化オ 驗石ニクカ 錢十個壹

平町四丁目 ツルヤ 電話百四十

蚊が大變出て 來ました

蚊帳の仕度は出來ましたか? 品良く... 値の安い 品の責任保證附

中野吳服店 平町三丁目 電話六十七番

牛ト食糧問題

米食ノ大和民族ハ食糧難ニ陥ル 食糧ヲ水田ニノミ求ムルハ今ヤ不可ナリ 範ヲ陸田國ニ探レ且ツ盛ンニ牛ヲ養ヘ 而シテ肉ト乳トヲ食用セヨ 肉ハ草ニ在リ藁桿ニ在リ

牛二九八 三二二三屋 電話三二三番


萬率瓦

萬年瓦工業株式會社 福島縣四倉町 電話三八番

鐵道省 御指定 仙台高等 工業學校 試驗證明

霜降小倉 通學服

寸法各種 澤山取揃 磐城平 ちかや洋服店 電話三〇三番



眞夏向

友染モスリン 夏衣 着尺

澤山人荷致しました 御來店御用命をお願申ます

大モスリン店 平町三丁目

最新流行 安ノイガ澤山揃ヒマシタ

大谷時計店 平町三丁目 電話一九番

部品洋谷大

株式賣買中値 電話に金融致す

銘格 拂込 時價	磐城銀行 五〇〇	五三、五
	平銀行 五〇〇	六八、〇
	同 新 一一、五	一一、五
	磐城銀行 一一、五	一一、五
	磐城銀行 五〇〇	四二、〇
	磐城銀行 三五、〇	二八、〇
	田村實銀 一一、五	一一、五
	四倉銀行 一七、五	一七、五
	農工銀行 二〇〇	二五、〇
	同 新 一五、〇	一八、五
	百七銀行 五〇〇	五二、五
	同 新 一一、五	一四、五
	七七銀行 一一、五	九、〇
	東部電力 五〇〇	四八、〇
	同 新 二五、〇	二二、五
	只見川電 一一、五	七、五
	植田水電 一一、五	一六、五
	二本松電 一一、五	一四、五
	磐城製菓 一一、五	一六、〇
	磐城製菓 一一、五	一、五
	植田物産 三〇〇	一三、五
	平製氷 二五、〇	二六、五
	好間軌道 五〇〇	一八、〇
	入山新 三二、五	二五、〇
	小田炭礦 二五、〇	一四、〇
	磐城炭礦 五〇〇	七、〇
	同 新 一一、五	四一、〇
	磐城セメン 五〇〇	一八、〇
	同 新 三三、〇	六〇、〇
	平運送 一一、五	四〇、〇
	買實誠懇切機敏に御取扱 申候間多少に不拘御用命願 上候	六、五

平町田町 電話三三三番 丸登株式店 川添房二郎

# 米價は今が絶頂

## これから下向きか

### 空梅雨の爲めに此昂騰 安島米檢主任談

米價は近來における高調を示し産地に於て四十圓臺を稱ふるに至つたため生活難の聲がたま／＼高まらんとする有様であるがこの推移につき平米穀検査處安島主任は次の如く語る「先月末よりかけて米價は昂騰の一筋を 辿り今や正米四十圓以上となり白米小賣値段も亦五十錢臺に迫らんとする有様でこの不景氣に際しては大いに警戒を要することと思ふ然し昨今の市場に於ける空氣は既に強氣の時を越したともいふべ

## 米界は 昨秋よりか

けて強氣を通じて来たものでこれは需給關係に多少の不安を感じたからであるけれどこれがために代用食の増加を来たし内地米の喰ひ延べとなつたことは争はれぬ事實で殊に今次の高値に依つて

## 外米の 需用が急増

したのである尤も今日の場合米價のみが桁外れに騰貴するのは喜ぶべき現象ではないけれど爲めに需用供給の數量調節に與つて効果が有り延いて端境期における法外なる高値を現さずして新米を迎ふるとすれば幾分

## 社會的 に考量され

ぬでもない何れにするも最近の相場は殆んど絶頂とも稱すべきものでこれから徐々に下向くのは一般の形勢なりといふことが出来るやうだ

## 眠氣を催す 時分に落し物

平署に届け出でる拾ひ物は



家庭欄

## 胡瓜の黄味酢和へ

胡瓜は新しい細いのを選び洗つて皮をむき、縦に二つに割つて芯を除き、薄く

## 自治の振興を協議

### 新らたな町村會議員大會を開催して

石城郡における町村會議員の選舉は既に廿數町村三分の二以上の改選を終り来る七月三日までに全部選舉の終るを待つて郡では七月六七ごろ町村長會議を開き豫て打ち合せ てあつた改選後に於ける郡下各町村會議員大會の開催を協議する筈であるが本年は普通選に近い程度で執行された爲め各町村共新人物あらしめ起ちしに反し財閥や縁故關係により従來樂々と

## 田植を促進

### 一三日中に終る

石城郡挿扶期作業の促進に關しては郡農會に於て極力督勵中の處其準備は例年より早かりしも苗の成育不良と水不足のため予期の如く促進し得ざりし處少なからざりしに去る十一月及び本日の降雨は挿扶に頗る適當の雨量を示し急に作業に従事するに至り目下其の最盛切つて鹽でもみ、よく水洗ひして固く絞つて置きます別に井に卵を別り、味りん少々と砂糖小サジ一杯を加へて箸にてよく掻きまぜておきます。次に小鍋を火にかけ胡麻油を引いて、先の卵を洗し入れ、手早く箸にて掻き混ぜながら煎ります卵がポト／＼になつてきた

## 平町農會の 二毛作褒賞

### 廿八日授與式

平町農會主催二毛作品評會褒賞授與式は二十八日午後一時から舉行終つて農事講話がある

## 桑園牛耕傳習

### 石城郡養蠶同業組合にては二十

八日午後一時より大浦村大字細谷字脇月西山常三郎氏方桑園にて桑園牛耕傳習會を開催すると當講師は縣より派遣する筈希望者は何人にも差支なしと

## 警炭第三斜坑 諸設備成る

### 工事を急いで

石城郡内郷村警炭炭礦第三斜坑は出炭量の増加に従つて捲上動力に不足を來しこの程ボーラ一本を増設したが尙充分でない爲め近く五本目のボーラを据付けると又目下工事を急いでゐる大煙突も來月十日頃には完成する筈であるから一斜坑と相對して一偉觀を呈することであらう

# 懸賞

(問題)——今晚有聲座の辯士が映畫の説明の中に「常警毎日新聞」と本紙の題號を申しますがそれは「ノ」映畫の説明の際でせうか

に解りの方はハガキで「平町長橋町常警毎日新聞社」に知らせ下さい、當つた方には特賞一名外五名に賞品を呈します、尙詳細は昨日の本紙を讀んで下さい

## 小名濱を

# 國營商港に

### 可能性がある

石城郡小名濱町は町民が多年の宿望であつた築港が完成したので今後この築港の利用に依り町の振興を期し得らるゝので町民の意氣込みが素晴らしいが更に將

## 所得税の 調査委員 決定

### 本日開票結果

平稅務署管内所得稅調查委員選舉は本日午前九時より稅務署樓上に於て新田目善次郎、井上茂作兩氏立會の上開票の結果當選者左記の如く決定した

## 募集

### 文藝其他投稿

石鳥居を奉納 石城郡警崎村元藤原炭礦は去る五月から三井礦山會社で經營することになつたので何かの記念を永久に残した

## 邪宗門の女

### 全十卷

繪島千歌子・雲井淳・小島陽三・生野初子共演 猛關現代劇

## 熱血の洗禮

### 全六卷

橋本君雄・藤川三之助・岩城友朋・小町美子・都賀清司 松尾文人共演 等寺院大作

## 響

### 卷七

坂東妻三郎・泉春子・小川英麿・本間直司・環歌子共演 東亞直營東北封切場 六月二十一日より

## 平劇場